



特定非営利活動法人

スペシャルオリンピックス日本・愛媛

事務局／〒790-0967 松山市拓川町3番44号

TEL／089-941-5630

2021年 8月10日発行

スペシャルオリンピックスと世界の平和！



新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）によって、東京五輪・パラリンピック2020の開催は1年延期されました。その後感染拡大は収束されず、スポーツ界は翻弄され続けています。私たちSOもその例外ではなく、残念ながらプログラムを中止せざるをえない時期もありました。しかし、このところ愛媛では感染者が少なくなり、先日開かれた6月の運営委員会で、「熱中症に留意しながらプログラムの活動を再開する」という決定をしました。アスリートの皆さんは待ち望んでいただけに喜んで

いることでしょう。

ところで、「より速く、より高く、より強く」という標語はフランス人神父がつくったオリンピック標語だそうですが、ジェンダー平等の視点から現状が批判され、スポーツにおける人種差別とジェンダー差別について国際的に問題となっています。又ある著名なジャーナリスト（89歳）は、「世界的規模の五輪には、何よりも参加条件が『不公平』そのもの（貧富の差が大きくて、公平な競技など期待できず）反対」と新聞に投書しました。このように人間の尊厳の保持や平和を掲げるオリンピック憲章とは相いれない現実が次々と目の前に報道されています。例えば、東京オリンピック2020の開催の是非をめぐる動き。専門家たちはコロナウイルス感染の第5波を懸念して、「いまオリンピックは避けるべき」、あるいは「やる場合は無観客で」と慎重論を提言していました。一方、その意見に耳を傾けない人たちは、何がなんでもオリンピックを強行するつもりようです。開会式を直前にした今でも「観客は最大1万人、いや5,000人、いや無観客で」と揺れ動いています。このまま実施してオリンピックフィーバーをねらっても感染が拡大した場合、一体誰が責任をとるのでしょうか。このところの政治状況をみていると、結果責任を問わないことがとても気になります。この数年アスリートたちが、オリンピックに向けて情熱を燃やしてきたことはよく理解できます。それだけに一人ひとりがオリンピック憲章の精神を考えてほしいのです。

スポーツと平和といえば、私はノエル・ベーカー卿の言葉「ピースとスポーツとは一体なのだ」を思い出します。氏は、イギリスの数学者・哲学者で1959年にノーベル平和賞を受賞。また第5回ストックホルムオリンピック大会（1912）に陸上選手として出場し、第1次大戦後の2つの大会にはイギリスチームの主将でした。氏の信条は、「スポーツを通じて平和を」ということ。翻ってSOをみれば、創始者であるユニス・ケネディ・シュライバーさんは、長野の冬季世界大会（2005）の成功を願って、「スポーツを通じ障がい者が受け入れられることによって世界を団結に導くSO運動の力が祝福される」というメッセージを届けてくれました。2022年の広島ナショナルゲーム大会につなげたいものです。

【 理事長 山本万喜雄 】



愛媛県内の聖火リレーに参加しました！

4月21日



東京オリンピックの愛媛県内での聖火リレーが4月21日四国中央市の県紙産業技術センターからスタートしました。県内第1区間・第一走者をアスリートの高橋健太さんが走りました。

「聖火ランナーは緊張しました。でも大丈夫でした。トーチは重たかったです！！」

いっぱい取材を受けました。テレビにも映って嬉しかったです。みんな応援に来てくれました。小学校の時の先生や会社の人も

応援に来てくれました。SOのみんなも応援してくれました。頑張りました。楽しかったです。また走りたいです。ありがとうございました。【アスリート 高橋 健太さん】

『皆さん、応援ありがとうございました！！』

聖火ランナーに申し込む際、思いっきりSOのことを盛り込んだのが功を奏したのか、今回の大役をゲットできました。マスメディアの方々からも、SOの活動について多くの質問を受けました。出来る限り飾ることなく親子で広報活動しておきました！！

今回の聖火リレーのコンセプトは『Hope Lights Our Way / 希望の道を、つなごう』です。私たちランナーだけでなく応援して下さった皆様の熱い思いが、明るい未来に繋がればいいですね！！

次は皆さんもチャレンジしてみてください。私も感謝と恩返しの気持ちで一生懸命応援します。でも、皆さんを差し置いて私が「い」の一番にもういっぺんチャレンジするのは確かです。【ファミリー 高橋 猛さん】



『ハラハラ、ドキドキ・・・の聖火リレー！！』

新型コロナウイルス感染の拡がりにより、1年延期となったもののまだまだ収まりが見えず、「本当に開催されるのか？」と心配しましたが、私たち家族の住む四国中央市は公道走行されることとなりました。

しかし、開催3日前に「健太の妹の関係機関で感染者が確認された。」との知らせで、翌日集団のPCR検査。念の為、健太と父もPCR検査を受け、後は妹の検査結果待ちとなりました。リレー前日、SOの仲間から「明日、頑張れ！」とメールが次々届く中、妹の検査結果がなかなか出ず・・・検査結果が出て健太の走行許可が出たのが、前日の夕方でした。そして当日、本人の考えた以上の規模の聖火リレーに緊張でこわばった表情の健太を見て、こちらもハラハラドキドキ。



次のランナーに聖火を繋いで二人でポーズをして、健太の役目が終わると、やっとホッとしました。

県内のスタート地点、第1走者ということで、たくさんのマスメディアに取り上げてもらい、SOの仲間やお母さん方にも、ニュースやネットで健太と本人以上に楽しそうな父の姿を見てもらい応援して下さったことを嬉しく思いました。貴重な体験をさせていただきました。【ファミリー 高橋 敏恵さん】



海ごみゼロウィーク 2021に参加しました!



海ゴミゼロウィーク2021に参加し、今治市の織田ヶ浜海岸の清掃をしました。

定期的な清掃活動が行われているようで、漂流ゴミは少なかったのですが駐車場などに捨てられたゴミがたくさんありました。

今後も自分たち出来るボランティアを定期的に続けて、スポーツ活動などに繋げて行きたいと思います。

【 今治ランチ 】



SON×B.LEAGUE みんなでモザイクアートを完成させよう!

スペシャルオリンピックス日本は、2018年に公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグの社会的責任イニシアティブである「B.LEAGUE Hope」とユニファイドスポーツを通じたインクルージョン社会の実現を目指し、パートナーシップを締結しました。

コロナ禍の中で開催される日本生命 B.LEAGUE FINALS 2020-21にて、スペシャルオリンピックス日本と「B.LEAGUE Hope」が「#届けバスケ」と「Be with all」のメッセージを共に発信することになりました。

今治ランチのアスリートたちが、モザイクアートに参加しました。



みんなでつくろう!
モザイクアート!



バドミントンプログラムを再開しました!

新居浜ランチ

7月4日より新居浜でもバドミントンプログラムを再開しましたが、ワクチン接種などで7月15日にやっとアスリート全員が揃うことができました。

みんなの元気な顔が見れて本当にうれしく思います。長かった自粛期間でした。

思いっきりシャトル打とう♡

【 新居浜ランチ 】



▲ 試合以外では全員マスク着用ソーシャルディスタンス守っています。

※ 残念ながら競泳プログラムはプールの利用が市内在住者限定の為もうしばらくお休みです。

ファミリー・コーチのワクチン接種も年齢順に終わリアスリートの接種も始まりました。すっかり大人になったアスリートたち当たり前前に接種を受けていることに感心します。早くコロナが収束する事を願います。

【 新居浜ランチ 】



! 今年の自粛中の作品です!

街で見かけた廃材のロボットに魅せられてチャレンジ♡

廃材で木製のロボットを作ってみました。

全長1.2mの鯉のぼりは布にペイントして作りました。

アイデアの提供と縫製は母担当の合作ですが、いつまで一緒に付き合ってくれる息子に感謝です。

【 新居浜ランチ 村上 澄子さん 】





「スペシャルオリンピックス 2022 広島」開催が決定しました。

スペシャルオリンピックス日本は、「2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム」を2022年11月4日（金）～6日（日）、広島県にて開催することになりました。

全国47都道府県から知的障がいのあるアスリートが広島に集い、日頃の練習の成果を発揮し、競い合います。知的障がいのある人たちにスポーツを通し社会参加を応援しているスペシャルオリンピックスは、オリンピックと同様4年に1度世界大会を開催しており、本大会は「2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ベルリン」に派遣する日本選手団の選考を兼ねて開催されます。

近年、スポーツが持つ力、そして障がい者スポーツに対しても、大きな関心と期待が寄せられています。このような機運高まる時期に本大会を開催し、知的障がいのある人と知的障がいのない人が、スポーツを通じて共に生きる社会へと繋がる大きな一歩になることを目指し、愛媛県からもアスリートが、参加しスペシャルオリンピックスの感動と笑顔を送り届ける大会にしたいと思えます。

大会概要（予定）

大会名称

2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

開催日程

2022年11月4日（金）～6日（日）3日間

2022年11月4日（金） 開会式

2022年11月5日（土） 競技（予選：ディビジョニング）

2022年11月6日（日） 競技（決勝） / 表彰 / 閉会式

開催地： 広島県内各所

参加者数： アスリート約1,000名

主催： 公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本

主管： NPO法人スペシャルオリンピックス日本・広島



バドミントンプログラムを再開しました！

松山・東温ランチ



みんな楽しみにしていた各プログラム練習が、始まりました。

久しぶりの練習ですが、暑い中みんな楽しく頑張って練習していました。

練習の間十分な休憩をとり熱中症対策をしました。

【 松山・東温ランチ 】

※ ボウリング6月27日・バドミントン7月11日・競泳9月（予定）

2021年ニュースレター賛助会員名簿（個人のみなさま） 2021年 7月16日現在

相原佐奈江	相原翔	青野毅	赤尾さとみ	秋山一郎	浅井栄二	浅井重喜
浅井則生	池田和弘	池田佐智子	石川章代	一色環	石丸妙子	石丸信子
和泉久美子	伊藤真利子	井上博	大野順一	大西環	大西博子	小倉ゆき
越智和代	落合操	梶原隆司	加藤真弓	金本健次	賀原忠道	賀原若菜
賀原祥枝	亀田均	河本修三	苅田欣也	河北万里	河島淳子	木原明美
公原泰夫	工藤美奈子	久米敏子	栗田弥和	栗田猛司	合田久子	合田幸広
佐伯都	佐々木章公	佐々木貴裕	佐々木有希子	塩崎晃英	塩崎喜代子	篠原博
柴田徳子	白石敦彦	白石美奈子	末松茂	末松ひとみ	鈴木豊博	須山広周
角倉正雄	仙波康司	仙波節子	曾我部冬子	高岡孝一	高岡栄美子	高岡令子
高木悦野	高木悠	高木弘子	高木正敏	高橋猛	高橋道明	武田正直
田坂栄二	田坂有祐	田中小百合	田中博	田中真澄	玉井茂明	玉井孝明
田村千代子	土居則行	時岡洋佑	時岡美恵	戸田幸	豊川奈都見	仲神繁秋
中川隆幸	中川真奈美	長野一朗	永易信正	野島小百合	橋田貴光	橋本治子
橋本舞	ハトの会	浜原先男	浜原道由	東奈々	日野和幸	日野眞理
福島隆広	福島久子	福田佳代子	福樹正	福樹恵	藤田いづみ	星加智也
本庄菊子	松浦侯子	松下里美	松田佳彦	松田玲瑠	松本友子	真鍋秀美
真鍋優斗	三浦幸子	水崎圭二	御手洗明	村上潤二	村上卓也	村上千恵美
村上文子	村上由美子	森内雅子	森実保	森平純子	矢野信子	山内真二
山田広子	山平真美	吉井章雄	吉丸美恵香	龍門壮太	龍門洋美	渡辺由美子
渡辺文喜	渡部房子	渡部正之	和田麻喜			

2021年ニュースレター賛助会員名簿（企業・団体のみなさま） 2021年 7月16日現在

株式会社石原自動車教習所	株式会社伊予銀行	風早集会所	株式会社小倉葬祭社
株式会社ファースト	株式会社レデイ薬局	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	
伯方塩業株式会社	社会福祉法人日野学園	不二印刷株式会社	今治ボウリング協会
三浦工業株式会社	株式会社 松山ステージサービス	株式会社えひめ保健企画	正岡電設

2021年ご寄付をいただきありがとうございました。

2021年 7月16日現在

落合 操 様

発行 NPO法人 スペシャルオリックス日本・愛媛

〒790-0967

松山市拓川町3番地44号 日野学園内

TEL・FAX 089-941-5630

メールアドレス : son_ehime@son.or.jp

SON・愛媛 HP: <http://www.son-e.com>

皆さまありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

今年度もいろいろな活動をしていきますので、応援をよろしくお願い致します。

【 事務局 】



※ このニューレターの印刷は、富士フイルムBI愛媛(株)様にご協力いただいています。